

ほのほのだより

～ 春にピッタリ！春を満喫する絵本 ～

時折吹く、暖かい風に春の近づきを感じますね！暖かくなってきて、気持ちも弾む春。桜やタンポポの花が咲き、新しいスタートの季節です。卒園や進級など子どもの成長もしみじみ感じる事が多い季節ではないでしょうか？今月は「春を感じる」をテーマに絵本をご紹介します。

「ちょうちょう ひらひら」(1・2歳児向け)

出版社：こぐま社

まど みちお 文・にしまき かやこ 絵

ちょうちょうひらひら、うさちゃんにとまった。
うさちゃんがうふふ。シカさんにとまって、シカさんが、えへへ。次は誰にとまるのかな？と楽しくなります。優しい言葉、響きの良い言葉が心地よく、黄色やピンクを基調とした絵は、春の訪れを感じさせてくれます。「うふふ。えへへ」と思わず一緒に微笑んでしまう絵本です。



「はなを くんくん」(2・3歳児向け)

出版社：福音館書店

ルース・クラウド 文・マーク・シーモント 絵

静かに雪の降る中、動物たちは体を丸めて冬眠中。おや？でも目を覚ましたようです。そしてちょっぴり寝ぼけまなこで鼻をくんくん。くんくんさせながら、雪の中をかけていき、その先に見つけたのは？春はもうすぐだよ。そこにきてるよ。と知らせてくれる喜びいっぱいのおはなしに、思わず動物たちと一緒にくんくんさせながら読んでしまいそうになる絵本です。



「おおきくなるっていうことは」(4・5歳児向け)

出版社：童心社

中川 ひろたか 文・村上 康成 絵

おおきくなるっていうことは「〇〇〇ってこと」とおおきくなるって、成長するってどういう事なのかを園長先生が教えてくれます。リズムある繰り返しの文章と可愛いイラストで描かれ、子ども達にもわかりやすくおおきくなるって素敵なことなんだよ！と教えてくれます。この春、自信を持って進級・進学して欲しいと願いながら一緒に読みたい絵本です。

